

朝来市総合計画審議会 第2回 会議録

- **開催日時** 令和3年1月14日（木）13時30分～15時30分
- **開催場所** 朝来市役所本庁舎 4階 会議室
- **出席者の氏名**

	出席者	欠席者
委員	岡 和彦	下口 光子
	桐山 徹郎	吉井 忠大
	草郷 孝好	
	篠原 諒太	
	関 綾乃	
	津 志歩	
	中尾 敦子	
	西垣 佳生	
	濱 智絵	
	松本 正寛	
	宮谷 泰史	
事務局 (市長公室総合政策課)	政策担当部長 赤間 博貴	
	総合政策課長 松本 昭浩	
	副 課 長 和田 幸司	
	課長補佐 馬袋 真紀	
	主 査 高本 恵三	

- **傍聴者** なし
- **会議**
 - 1 **開会**
第2回朝来市総合計画審議会を開催する。
 - 2 **あいさつ**
会長
前回の審議会で、委員の皆さんから多くの御意見をいただいた。これから

の朝来市の未来をどのように描くかについて、皆さんの自由な発想やこれまでの朝来市における生活や経験、未来に対する想いを踏まえて、さらに良い意見交換をしていきたいと考えている。委員の皆さん一人一人のお力添えをお願いしたい。

担当部長

新型コロナウイルス感染症で緊急事態宣言が行われ、朝来市でも明日から公共施設の使用を午後8時までの制限や、場合によっては会議の中止なども行われる予定になっている。しかし、この審議会については、スケジュール的なこともあり、やらなければならない会議、また市として大切な会議であり、不要不急に該当しない重要な会議として位置づけ、開催させていただいている。今日もより良い審議となるようよろしくをお願いしたい。

3 審議

(1) 第1回審議会・職員プロジェクト会議での対話内容について（共有）

事務局 <資料1、資料2>

第1回審議会及び第5回職員プロジェクト会議の対話の内容について説明。

副会長

資料2中の「持続的なインフラ維持管理・更新」で、「縮退」という言葉があるが、初めて聞いた。この用語はあるのか。

事務局

「縮退」という言葉は、都市計画分野では使われる言葉であるが、伝えたい意図としては、人口が減少していくなかにおいて、人口規模が多い時代に整備されたインフラと同じ規模で持続していくことは難しいということ。

「縮退」に限らず用語については、市民への伝わりやすさを踏まえ、今後考えていく必要がある。

委員

資料をまとめる流れを教えてください。これだけたくさんの委員が関わっているとたくさん意見も出てきて、まとめる際に取舍選択が必要だと思うが、簡単でいいので、まとめ方の流れや何人が関わって検討されているのか教えてください。

事務局

対話で使った模造紙に書いてある意見は全てデータ化し、その後、同じ御意見や、類似しているものは分かりやすい言葉でまとめ、出来る限り全ての御意見を反映しようとしている。ただ、全ての意見をまとめることは難しく、各グループ対話の中で反応が大きかった点や強く意見が出されていた点などを共有しながら資料をまとめている。

まとめ方は、支援事業者と総合政策課の担当者と議論しながらまとめの素案を作り、その後、政策担当部長以下事務局全体で議論し、資料を作り上げている。

委員

資料2中の「持続的なインフラ維持管理・更新」で、市が抱えているインフラの具体的なものを表示されていると分かりやすい。国管理のもので市が関与できない部分と市の管理部分を区別したほうが市民にはより分かりやすい。

事務局

細かな部分は資料3や基本計画につながる場所もあるが、具体的には市道、橋梁、上下水道、ケーブルテレビなどがある。詳細については、基本計画の段階で説明し、共有していきたい。

(2) 将来像、基本構想について

①基本構想たたき台について（説明）

事務局 <資料3>

将来像、基本構想のたたき台について説明。

- ・たたき台は、第1回審議会、あさご未来会議、職員プロジェクト会議等でいただいた意見をもとに作成。
- ・「将来像」は、8年後の朝来市の姿、到達点を表すもの。ただし、今までの対話では具体的なありたいまちの姿や取組の意見が多かったため、現段階のたたき台では、将来像の具体案は提示せず、今までいただいた意見として「市民の気持ち」と「まちの姿」の2種類に分類してまとめている。
- ・「まちづくりの目標」は、将来像の実現に向けて、おこしたいまちの変化や取り組むべきまちづくりを表しており、6つのテーマに分けて整理している。
- ・「基本理念」は、まちづくりの主体となる市民一人一人・行政・関わる人がまちづくりを進めるうえで大切にしたい視点、基本的な考え方を表しており、3点にまとめている。

委員

「シビックプライド」と「society5.0」の用語について教えていただきたい。

事務局

「シビックプライド」は、市民のまちへの愛着や誇りに加え、まちをより良くするために自分自身が関わっている当事者意識に基づく自負心が

含まれている。「Society5.0」は、先進技術を産業や社会生活に取り入れ、経済活動と社会的課題の解決を両立していくこと。

総合計画の本文では、「シビックプライド」「Society5.0」に限らず、市民の皆さんにとってなじみのない用語はできるだけ分かりやすい言葉を使用し、必要に応じて用語解説を入れる予定である。

②基本構想たたき台について（全体対話）

委員

「つながりが生まれる観光」という表現が分かりにくい。また、関係人口の表現はあるが交流人口はないので必要だと思う。

情報発信は全ての分野に含まれているという説明だったが、ひとつの柱として必要ではないか。基本理念で持続可能性を意味する言葉もあるが、内向きの内容が多い。外向きに朝来市を発信していく部分も強調されると良いと感じた。

事務局

情報発信については、全ての分野で必要なことであり、分野ごとに必要に応じた情報発信方法を考えていくが、資料3の全てのまちづくり目標ごとに箇条書きでは記載していない。ただし、情報発信については必要かつ大切な事項として捉えており、現段階では、情報発信の総括的及び基本的な考え方について、「⑥市民とともにある、効率的で健全な行財政運営を実現する」の基本計画で示していく考えである。

委員

将来像は「8年後を見据えて」とあったが、8年後に自分が何をしているのか、近隣の人はどのように過ごしているかを考えると、明るい未来を描きたいが、明るい未来だけを描けないと感じている。そのようなことを踏まえながら、将来像を考える必要があると思う。

委員

この計画は、市役所関係者だけでなく全市民が見られるものだと思う。そうすると、基本理念は計画の根底的なものになると思うが、「創発につながる対話」という言葉が分かりづらい。市民が見て分かる言葉にすることが必要だと思う。

委員

まちや社会を考えていく上で、私自身が意識していることは、自分の思いを伝えていくことがもちろん大切だが、自分だけのまちではないと思うことが大切だと思っている。そういった意味で、「時代の捉え方」があると、「社会全体がこういう方向に向かっている、目指している」という目安が分かり、自分の主観に偏らず、意見を出しやすいと思った。

委員

総合計画を進めていくうえで、牽引力がある行政などが引っ張っていく部分と、市民の力が必要だという部分のすみわけをしてもらえると、市民にとっても分かりやすく、活動や行動につなげやすい。地域自治協議会の活動を手探りで展開しているが、市民の役割が明確だと自分たちの進む方向性の意識にもつながる。

委員

将来像で、「幸せ・楽しい」という言葉だけでは少し抽象的と感じる。個人が集まってまちになるのは理解できるのだが、全員が幸せにならないことも出てくると思う。まちづくりの目標⑤⑥になると損をする人が出てくると思うので、朝来市としての将来像としては、まちの平均点という部分になるのかもしれない。

また、6つのまちづくりの目標は、①～④と⑤⑥では違いを感じる。①～④は市民一人一人がやりたいことにチャレンジし、その延長にある理想のまちの姿であるが、⑤⑥は市民一人一人の努力では解決できるものではなく、まちとしての課題につながると思う。①～④と⑤⑥を分けて考える必要があるのではないか。

委員

今の朝来市では教育が弱いと感じている。義務教育と子育てに当たる部分については、もっと強化されても良いと考えている。

また、ケーブルテレビ告知放送でコロナの状況などのお知らせが流れており、多くの情報を得ることができるが、ケーブルテレビやホームページで同じ情報を得ることができない。各家庭におけるケーブルテレビ告知放送の設置状況、障害の有無、言語の違いによって情報格差が生まれていると思う。その観点での情報発信・情報共有の強化も大切ではないか。

委員

教育・子育ての分野にもつながるが、朝来市ではファミリーサポートの体制がなく、ちょっとしたときの子どもの預かりの体制が必要だと思う。市や社会福祉協議会などが連携して実施できるようになれば良いと思う。

また、情報発信については、それぞれの団体で行われているが、市内での認知度も低く、横のつながりが薄いと感じている。学校や地域自治協議会、社会福祉協議会、商工会などが行っている情報発信は、縦割りであり、情報を欲しい人や市民全体に行き渡っていない状況である。市がとりまとめて、ケーブルテレビなども活用しながら情報発信する仕組みや担当があると良いと思う。

公共交通や高齢者等の買い物の課題はよくあげられる。公共交通に関しては福祉バスや乗り合いタクシーなど、買い物に関しては移動スーパーなど、他の自治体で工夫されている事例がある。これらの先進的な事例を一部の人だけで視察に行くのではなく、地域自治協議会など市民と情報を共有し一緒に視察に行くなど、市民も知る機会を増やしてほしい。そうすれば、地域自治協議会や個人事業主の活動にもつながるのではないかと思う。

委員

基本構想のたたき台は朝来市らしいと感じた。あさご未来会議にも参加したが、他の自治体で自分の思いを自分の言葉で伝えることはなかなかない。そういった機会や対話を大切にするという考え方は朝来市らしく、これからも大切にしていきたい。

また、教育なら教育だけ、子育てなら子育てだけとするのではなく、最近では複数の問題が混在していることが多いので、例えば、福祉と交通、防災と公共施設など、課題を組み合わせで解決できるような組み立てができると、財源も削減でき良いのではないか。

委員

都市基盤という言葉は、道路や上下水道のほか、交通ということも指すと思うが、朝来市において都市基盤という言葉が合っているかどうか疑問に感じる。朝来市が朝来市らしくあることが大切で、あまり都市を強く出さなくても良いのではないかと思う。朝来市は農村社会であり、都市部と同じような表現で考えるのではなく、朝来市としての考え方で表現すれば良いのではないか。

会長

まちづくりの目標について、①②については、1つの文章になっているが、2つのことが混ざっている。①は、「様々な学びややりたいことにチャレンジできる」ということと、「そういった人をつくる」という2つの要素が入っている。②は、「人と自然が共生する」ということが1つである。これは単独でとても重要であり、産業だけでなく人々の生き方や文化にも関係することとである。これに加えて、「地域で循環できるような産業が確立できることが重要」という要素もある。このように細部まで見ていくと、まちづくりの目標は6つではなく7つや8つになっているのかもしれない。

今まで出された意見の中に、まちづくり目標⑤⑥は①～④と立ち位置が違わないかという意見があったが、①～④は朝来市の市民の皆さんがどのように暮らすのかというものであり、市民の生活という視点で見たときに、⑤⑥は①～④をサポートする視点とも言える。①～⑥を

並べると違和感があるというご意見があったが、「どういうまちでありたいか」という視点で見れば、①～⑥を並べることには違和感はないと思う。その点から整理すれば、「まちづくりの目標」という言葉そのものが合っていないのではないかと考える。例えば、「8年後のまちのあるべき状態」として見れば、①～⑥が並んでいることに違和感はない。

次に、将来像は8年後にどのようなまちでありたいのかというビジョンであり、将来像を実現するために基本理念が必要になってくるが、基本理念も、朝来市で暮らし、活動されている方が、「心得として大事にしたいこと」というニュアンスの方が分かりやすいのではないかと。また、その内容も、SDGs や Society5.0 という言葉に引きずられるのではなく、「その概念を朝来市ではこのように捉えられるので、こういったことを大事にしたい」というまとめ方で良いのではないかと。これに限らず、市民に伝わりやすいように朝来市で使われる言葉に変換してけると良いと考える。

事務局

みなさんから、本当に貴重な御意見をいただいた。いただいた御意見は、今日の対話の対象である基本構想に関するものもあれば、次回以降で審議予定の基本計画や事務事業に関係するものまで多岐にわたっていた。したがって、今回いただいた御意見の全てを基本構想に反映することはできないが、今後の基本計画づくり等にも反映していきたいと考えているので御理解いただきたい。

③将来像まちの姿について（グループ対話）

グループごとに将来像について対話を行う。

④全体共有

各グループから対話の内容について発表。

対話の内容は、別紙の通り。

⑤総括

会長

対話の時間が短かったので、もう少し話したいと思っておられる方もいらっしゃるのではないかと。3つのグループの話聞いてさらにアイデアが広がったこともあるはず。新しい意見については、事務局に意見を残していただくと良いのではないかと。

また、このような対話のプロセスそのものが資料3にある「創発」である。「創発」という言葉は、対話などの過程を通して創造していくというプロセスを意味するが、朝来市が目指していくべきものは、それを越えたアクションだと思っている。このアクションを生みだしていくための土台となるための計画づくりであり、将来像だと思う。

それぞれ3つのグループが違う角度から将来像が話されていたことが良かった。経済循環のことや、地域性のことなど具体的な提案もいただいた。これらの意見を踏まえながら、2029年に向けての羅針盤づくりをしっかりとしていきたいと思った。

第3回以降もみなさんのお知恵とお力をいただきたい。

4 その他

次回の会議開催日程を連絡。

- ・第3回 令和3年2月12日（金）13時30分から

5 閉会

副会長

ごくろうさまでした。会長からもあったが、言い残したことは事務局に伝えていただきたい。お正月明けてからコロナ感染者が増えている。みなさまも気をつけて過ごしてほしい。